

事業報告

令和3年度は、昨年の11月末以降、感染・伝播性や抗原性が従来株から大きく変化した新型コロナウイルスオミクロン株の出現により、大部分の都道府県でオミクロン株のいわゆる市中感染が拡大し、多くの地域でデルタ株からオミクロン株への急速な置き換わりが進む等、前年度に引き続き、国民生活及び経済に大きく影響を及ぼしました。

こうしたコロナ過での令和3年度の国内新車販売台数は、前年度比9.5%減の421万5826台と3年連続で前年度を下回り、半導体不足の長期化に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う部品調達難で生産が停滞し、1976年度（420万台）以来、45年ぶりの低水準になりました。

本県における新車新規登録・届出台数は3万8064台と4万台を割る等、3年連続で前年度を下回り、東北運輸局が統計を開始した2002年以降、最小となりました。

これを受け、当協会の主要業務である自動車番号標板交付（頒布）事業は、交付（頒布）枚数が前年度比8.8%減の16,144枚の減少となり、交付（頒布）手数料収益も同比9.1%減の772万円程の減収となりました。

また、印紙類の売り捌き事業においては、新車販売台数の減少とともに、新車新規登録及び継続検査におけるOSSの利用拡大に伴い、検査登録印紙及び自動車重量税印紙の取扱金額がそれぞれ前年度比で12.8%、10.5%減と落ち込み、これらに係る手数料収益も231万円程の減収となりました。

希望番号の希望率は、登録自動車が32.6%と想定 of 31%を上回ったものの、軽自動車が21.5%と想定 of 23%を下回りましたが、総合的に大体堅調な伸びとなりました。

なお、好調に推移し収益面でも重要な要素となっていた「オリンピックナンバー」は昨年9月で終了となりました。

公益事業については、新型コロナウイルスの影響によりイベント等の中止が相次ぐ中、可能な限り公益目的支出計画に沿い、交通事故防止啓発を始め自動車行政の推進に寄与し健全な車社会の発展に資する取り組みへの参加・支援・啓発等を行ってきました。